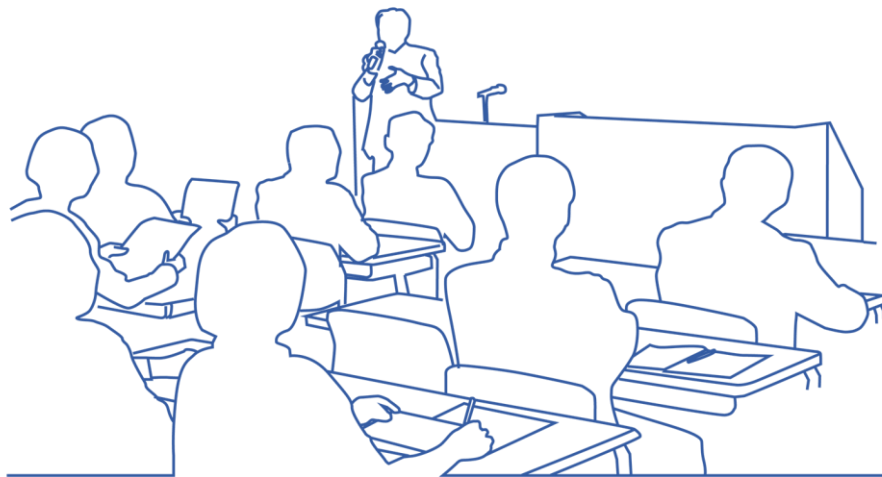


生涯学習アカデミーちば 公開講座



日時

7月10日（土） 10:00～11:30

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員や会場が変更になる場合、中止・延期となる場合があります。

会場

千葉市生涯学習センター 2F ホール

定員

40人（応募者多数の場合抽選）

受講料

無料

対象

千葉市在住・在勤・在学の方を優先

※生涯学習アカデミーちば第7期受講生の方は、改めて申し込む必要はありません。

2021年

5/31(月)
応募締切



〔講師〕

RKB毎日放送
デジタル報道担当局長
神戸 金史 氏

障害をもつ息子の父親として ～相模原事件と私たちの時代

2016年7月に発生した津久井やまゆり園事件（相模原障害者施設殺傷事件）に大きな衝撃を受け、事件の被告と接見を重ね、ラジオドキュメンタリー「SCRATCH差別と平成」、テレビドキュメンタリー「イントレランスの時代」などを制作しました。自閉症という障害をもつ息子の父親として、相模原事件をみつめ、私たちの時代を語ります。

1967年群馬県生まれ。1991年に毎日新聞入社。長崎県雲仙・普賢岳大火砕流に遭遇し、現地に3年間住み込み災害取材に専従。福岡、東京勤務を経て、2005年にRKB毎日放送（福岡市）に転職。障害を持つ長男と妻を描いたセルフドキュメンタリー『うちの子 自閉症という障害を持って』で、TBS系列のネットワーク大賞を受賞した。

東京報道部で単身赴任中の2016年、やまゆり園障害者殺傷事件の直後にフェイスブックに投稿した個人的なメッセージが反響を呼び、事件3か月後に合わせ『障害を持つ息子へ』（ブックマン社）を出版した。犯人の植松聖被告と接見を続け、TBSと共同制作したラジオドキュメンタリー『SCRATCH 差別と平成』が放送文化基金賞の最優秀賞に。これを映像化したテレビ『イントレランスの時代』で、2020年のネットワーク大賞を受賞した。

主催 千葉市生涯学習センター